



藤田医科大学
FUJITA HEALTH UNIVERSITY

医療科学部

'25

学生便覧



目 次

医療科学部編

独創一理	1
藤田医科大学 大学3ポリシー	1
医療科学部の教育目的、ポリシー	2
医療検査学科の教育目的、ポリシー	4
放射線学科の教育目的、ポリシー	6
2025年度行事予定	8
新入生・在学生へのメッセージ	11
教員組織	
医療科学部 教員組織	13
2025年度 医療科学部 クラス担任名簿	14
事務局案内	
事務局の業務	15
提出書類一覧表	16
学 修	
履修案内	18
取得資格	20
資格一覧表	21
各学科における取得目標資格一覧表	22
学生生活	
掲示	23
防災	23
学費の納入	23
学業奨励奨学金給付金制度	24
藤田医科大学医療科学部における個人情報の保護について	25

独創一理

Our creativity for the people
私たちの創造力を人々のために

藤田医科大学にはいつの時代にも通用する、不変の理念があります。

建学の精神は「独創一理」。その精神はいつの時代も揺らぐことがなく時空を超えて通用する本学のコンセプトです。「独創一理」は、あなた自身の創造力が新しい時代を切り拓く力となる、という私たちの信念を示したものです。この理念は、あなたに既成概念にとらわれない自由な発想と大きな可能性を与えてくれることでしょう。

本学には生命科学本来のアカデミズムが息づいています。そして、多くの難問に対峙しながら、それに真摯に取り組んで解決策を見出す医療人を目指すなら、本学は最適の場となるでしょう。未来につながるあなたの道はここから始まります。

藤田医科大学 大学3ポリシー

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は、建学の精神である「独創一理」のもと、「独創的探究心」を備え、主体的に行動する社会人として科学的思考、国際的視野、多職種との連携・協働、倫理観と責任感が十分に培われ、診療、疾病予防や健康増進を通じて社会に貢献する能力を身につけたと認められる人の卒業を認め学士の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学は、独創的探究心や課題解決能力を養うために螺旋的・体系的なカリキュラムを編成します。多様な授業形態を組み合わせ主体的・能動的に学ぶ教育課程の展開と自発的な学修の促進を図ります。学修成果を適切に評価し、教育実践及び学修指導について組織的に検証し改善に努めます。

入学者の受け入れ・選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、医学・医療と健康に深い関心を持ち、意欲や情熱を備え、幅広く豊かな教養を持つ人を求めます。主体性をもって課題に取り組む能力と探求心を備え、他者と協働して地域と国際社会に貢献しようとする高い志を持つ人を受入れます。加えて「学力の3要素」を適正に評価する入試選抜を実施します。

入学試験は多様な知識や能力等を評価するために複数の受験機会を提供します。性、人種、宗教、性的指向、社会経済的地位や身体能力は評価しません。なお、本学は人々の健康を守る医療人材を育成する大学として、入学者は喫煙しないことを約束できる方とします。

医療科学部の教育目的、ポリシー

1 人材の養成に関する目的

「独創一理」の建学の理念の下に、人間の生命を尊重する高い倫理観と心豊かな幅広い人間性を培う教育を行う。

臨床検査学、臨床工学、放射線学などの専門知識と技術を修得し、先進医療科学を共創できる心優しき知的医療プロフェッショナル「良き医療人」を養成する。

多様な社会の人々の健康と医療を科学的に観察・思考し、科学的根拠に基づいた課題解決に自らの役割を柔軟に発揮できる人材を養成する。

2 アドミッション・ポリシー

医療科学部は、本学の建学の理念に共感し、医療に誠実に携わることを望むものを広く受け入れる。

- 1) 健康・保健医療およびその関係する分野に高い関心をもつもの
- 2) 心豊かな人間性と幅広い教養を育み、主体性をもって他者と協働して課題に取り組む志のあるもの
- 3) 専門的な知識や技術を活かして、組織や国内外の社会に貢献しようとする志のあるもの

入学試験は多様な素養を評価するため、複数の受験機会を提供する。

なお、性、人種、宗教、性的指向、社会経済的地位や身体能力は評価しない。

各入学試験で求める能力

試験区分 (入試区分)		項 目	求める学生像				
			知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度	専門医療の知識や技術の学びに取り組む意欲と情熱	チーム医療への深い関心
藤田フロンティア入学試験 (総合型選抜)		科学適性試験	○	○			
		国際適性試験	○	○			
		講義理解力試験		○		○	○
		調査書	○		○		
推薦入学試験 (学校推薦型選抜)	一般公募制推薦 〔専願〕	小論文	○	○		○	
		面接		○	○	○	○
		調査書	○		○		
		推薦書	○	○	○		
		志望理由書		○		○	○
		活動実績表			○		
	一般公募制推薦 〔併願〕	小論文	○	○		○	
		面接		○	○	○	○
		調査書	○		○		
		推薦書	○	○	○		
一般前期入学試験 (一般選抜)		教科の試験	○	○			
		調査書	○				
共通テスト利用前期入学試験 (一般選抜)		大学入学共通テスト	○	○			
共通テスト利用後期入学試験 (一般選抜)		大学入学共通テスト	○	○			
		調査書	○				
		活動実績表			○		
共通テストプラス入学試験 (一般選抜)		一般前期入学試験 教科の試験	○	○			
		大学入学共通テスト	○	○			

禁煙への取り組み

藤田医科大学では、人々の健康を守る医療職者を養成する大学として、入学者は喫煙しないことを約束できる方とします。

3 カリキュラム・ポリシー

医療科学部は、ディプロマ・ポリシーに示した5つの力を身につけるために段階的・体系的な教育課程を編成する。

授業は講義・演習・実験・実習・実技の様々な方法・形態等により行い、学生が主体的・能動的に学ぶことを目的とする。

学修成果は、あらかじめ明示した学修目標に即して総合的に評価する。教育の内容・方法・効果に対する組織的な評価と検証を行い改善に努める。

4 ディプロマ・ポリシー

医療科学部は、本学の建学の理念および学部・学科が掲げる人材の養成に関する目的に基づき、各学科で所定の課程を修め、以下に示す5つの力を身につけた者に学士の学位を授与する。

課題を解決する力

- 1) 幅広い教養ならびにそれぞれの専門分野の基本的な知識と技術をもち、それを論理的に活用するために管理し、正確な情報を読み解き課題を解決する力を身につけている。

連携する力

- 2) 医療に関係する専門職の担い手やその恩恵に預かる人々すべてを尊重して、お互いが手を取り合い、良き医療を実践するための基本的能力を身につけている。

自律して達成する力

- 3) 倫理観をもっておほかで他者を慈しみ、目的のために自身を評価・判断して行動できる能力を身につけている。

社会に貢献する力

- 4) 社会の一員として自らの役割を認識し、そこに住まう人々が健康と医療に満足できるように使命感をもって行動し、多様な社会に貢献する能力を身につけている。

創造する力

- 5) 多面的に観察・分析することにより新たな問題を発見し、それらを解決するために科学的な探究と創造的な取り組みができる能力を身につけている。

医療検査学科の教育目的、ポリシー

1 人材の養成に関する目的

幅広い教養ならびに臨床検査学あるいは臨床工学の知識と技術を学修し、実際に活用するための教育を行う。
医療技術のプロフェッショナルとして社会的な使命と責任を自覚し、倫理の上に課題解決に主体的に行動できる人材を養成する。

他者と連携して患者本位の医療提供およびその質の向上に取り組むことができる人材を養成する。

2 アドミッション・ポリシー

求める学生像

知識・技能

- 1) 臨床検査学あるいは臨床工学の専門知識を学ぶために必要な自然科学に関する基礎学力を有する人
- 2) 表現・コミュニケーションの基礎となる言語に関する基礎学力を有する人

思考力・判断力・表現力

- 3) さまざまな観点から物事を考え、まとめることができる人
- 4) 自らの考えを論理的にわかりやすく表現できる人
- 5) 知識を活かして多様な社会に貢献したいという意欲がある人

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- 6) 健康・医療や生命科学に強い関心があり、臨床検査学あるいは臨床工学を学ぶ意欲がある人
- 7) 周囲や他分野の人々とコミュニケーションを通じて良好な関係を築ける人
- 8) 考えや行動に責任をもち、ものごとに対して積極的に取り組む意欲と向上心を有している人

3 カリキュラム・ポリシー

医療検査学科では、臨床検査学ならびに臨床工学に精通した医療プロフェッショナルを養成する。

ディプロマ・ポリシーに掲げる5つの力を身につけるために基礎分野科目および専門分野科目を段階的・体系的に編成する。

専門分野科目の基礎医学系科目履修後、専門分野科目履修後にそれぞれ課題解決型学習（PBL：problem based learning）を配置し、横断的理解を図る。

1) 教育課程実施方針

- ・1年次から2年次前期は、基礎分野科目および一部の専門分野科目を学修する。「解剖学」「生理学」「生化学」「基礎医学実習」において人体の構造と仕組みを学び、並行して「臨床病態学総論」「臨床病態学」において、診療で取り扱う病態のメカニズム、検査、診断、治療等を学ぶ。「基礎医学PBL」により基礎医学系科目の知識の連携を図り、その後の臨床検査学ならびに臨床工学の学びにつなげる。
- ・2年次後期から3年次は、自ら選択したプログラムの科目を学修する。臨床検査学プログラムでは、検査法とその臨床的意義を学び、3年後期の「臨地実習」に接続する。臨床工学プログラムでは、生命維持管理装置の操作管理法とその臨床的意義を学び、3年次後期の「臨床実習」に接続する。
- ・4年次前期には、1年次から3年次までに学修した科目の知識・技術を応用する卒業研究を実施して研究の基礎を学ぶ。また、次世代の医療や3年次までの学びをより深めるためプログラム横断科目を履修し、多様な社会での活動に活かす。
- ・4年次後期には、臨床検査学プログラムでは「生体成分分析PBL」「生理検査PBL」を、臨床工学プログラムでは「医用生体工学PBL」「安全管理学PBL」を配置して、それぞれの専門分野科目の知識を連携する。さらに「臨床医学PBL」により病態を軸に互いの専門性を理解、連携して4年間の学びを総合的に理解する。

2) 学修方法

- ・体系的に配置された専門分野科目の講義・演習・実習を通じて、臨床検査学あるいは臨床工学の論理的思考力、応用力、課題発見・解決力を育む。

- ・少人数グループのディスカッションやプレゼンテーション等を行うアクティブ・ラーニングでは、主体的に学ぶ力、協調性や自己表現力等のコミュニケーション能力を育む。
- ・CAP 制を実施し、各年次における卒業要件科目の履修登録単位数に上限を設け、十分な学修時間を確保できるようにする。
- ・事前事後学修の内容と時間をシラバスに明示し、授業の予習・復習や応用的活動を通じて自律的な学修ができるようにする。
- ・教員のオフィスアワーを設け、授業内容の質問、履修計画やキャリアデザイン相談などができるようにする。

3) 学修成果の評価方法

- ・学修成果は、シラバスに明示された学修目標に即して総合的に評価する。
- ・学生の自己評価、学修状況や授業評価などを活用して教育方法の改善につなげる。

4 ディプロマ・ポリシー

医療検査学科では、医療科学部のディプロマ・ポリシーに基づき、以下に示す5つの力を身につけた者に『学士（医療検査科学）』の学位を授与する。

課題を解決する力

- 1) 幅広い教養ならびに臨床検査学あるいは臨床工学の専門的な知識・技術を身につけている。
- 2) 課題を発見し、科学的根拠に基づいた思考と判断により解決に向けて取り組むことができる。

連携する力

- 3) 医療プロフェッショナルのあり方や役割を理解し、多職種連携を実践することができる。
- 4) 社会におけるチームの一員として相互理解に努めることができる。

自律して達成する力

- 5) 健康・医療に関わる者として生命の尊さを認識し、倫理観と責任感をもって自らの役割を果たすことができる。

社会に貢献する力

- 6) 健康・医療・生命科学の学びを総合的に活用して多様な社会の課題に取り組むことができる。

創造する力

- 7) ものごとを自由な発想でとらえて科学的な探究と創造的な取り組みができる。

放射線学科の教育目的、ポリシー

1 人材の養成に関する目的

幅広い教養ならびに放射線学の知識と技術を学修し、実際に活用するための教育を行う。

医療技術のプロフェッショナルとして社会的な使命と責任を自覚し、倫理の上に課題解決に主体的に行動できる人材を育成する。

他者と連携して患者本位の医療提供およびその質の向上に取り組むことができる人材を育成する。

2 アドミッション・ポリシー

求める学生像

知識・技能

- 1) 医学と理工学に関心があり、放射線技術学の専門知識を学ぶために必要な自然科学に関する基礎学力を有する人
- 2) 表現・コミュニケーションの基礎となる言語に関する基礎学力を有する人

思考力・判断力・表現力

- 3) さまざまな観点から物事を考え、まとめることができる人
- 4) 自らの考えを論理的にわかりやすく表現できる人
- 5) 知識を活かして多様な社会に貢献したいという意欲がある人

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- 6) 健康・医療や生命科学に強い関心があり、放射線技術学の知識を活かして社会に貢献したいという意欲がある人
- 7) 周囲や他分野の人々とコミュニケーションを通じて良好な関係を築ける人
- 8) 考えや行動に責任をもち、ものごとに対して積極的に取り組む意欲と向上心を有している人

3 カリキュラム・ポリシー

放射線学科では、放射線技術学に精通した医療プロフェッショナルを養成する。

ディプロマ・ポリシーに掲げる5つの力を身につけるために、基礎分野科目および専門分野科目を段階的・体系的に編成する。専門分野科目の基礎医学系科目履修後、専門分野科目履修後にそれぞれ課題解決型学習(PBL: problem based learning)を配置し、横断的理解を図る。

1) 教育課程実施方針

- ・1年次から2年次前半は、基礎分野科目および専門分野科目の一部を学修する。「解剖学」「生理学」「生化学」において人体の構造と仕組みを学び、並行して「臨床病態学総論」、「臨床病態学」において、診療で取り扱う病態のメカニズム、検査、診断、治療等を学ぶ。「基礎医学PBL」により基礎医学系科目の知識の連携を図り、その後の放射線技術学の学びにつなげる。
- ・2年次から3年次は、専門分野科目を学修する。2年次後期から3年次前期は、チーム基盤型学習(TBL: team based learning)とした実験を行い、その知識の連携を図るPBLを行う。3年次後期には「臨床基礎実習」を実施し、その後の「臨床実習」に接続する。
- ・4年次前期には、1年次から3年次までに修得した基礎分野科目および専門分野科目の知識・技術を「総合放射線技術学Ⅰ(PBL)」で総合的に理解する。また、それらの知識、技術を応用できるよう、卒業研究を実施する。
- ・4年次後期には、「臨床医学PBL」により病態を軸に専門性を理解、連携して4年間の学びを総合的に理解する。

2) 学修方法

- ・体系的に配置された専門分野科目の講義・演習・実習を通じて、放射線技術学の論理的思考力、応用力、課題発見・解決力を育む。
- ・少人数グループのディスカッションやプレゼンテーション等を行うアクティブ・ラーニングでは、主体的に学ぶ力、協調性や自己表現力等のコミュニケーション能力を育む。
- ・CAP制を実施し、各年次における卒業要件科目の履修登録単位数に上限を設け、十分な学修時間を確保

できるようにする。

- ・事前事後学修の内容と時間をシラバスに明示し、授業の予習・復習や応用的活動を通じて自律的な学修ができるようにする。
- ・教員のオフィスアワーを設け、授業内容の質問、履修計画やキャリアデザイン相談などができるようにする。

3) 学修成果の評価方法

- ・学修成果は、シラバスに明示された学修目標に即して総合的に評価する。
- ・学生の自己評価、学修状況や授業評価などを活用して教育方法の改善につなげる。

4 ディプロマ・ポリシー

放射線学科では、医療科学部のディプロマ・ポリシーに基づき、以下に示す5つの力を身につけた者に『学士（診療放射線技術学）』の学位を授与する。

課題を解決する力

- 1) 幅広い教養ならびに放射線技術学に関する基礎的および専門的な知識・技術を身につけている。
- 2) 課題を発見し、科学的根拠に基づいた論理的な思考と判断により解決に向けて取り組むことができる。

連携する力

- 3) 医療プロフェッショナルのあり方や役割を理解し、多職種連携を実践することができる。
- 4) 社会におけるチームの一員として相互理解に努めることができる。

自律して達成する力

- 5) 健康・医療に関わる者として生命の尊さを認識し、倫理観と責任感をもって自らの役割を果たすことができる。

社会に貢献する力

- 6) 健康・医療・生命科学の学びを総合的に活用して多様な社会の課題に取り組むことができる。

創造する力

- 7) ものごとを自由な発想でとらえて科学的な探究と創造的な取り組みができる。

2025年度 行事予定

医療科学部全体		
行 事	日 程	備 考
在学生ガイダンス	2025年3月31日（月）	
在学生前期授業開始	2025年4月1日（火）	
全学合同入学式	2025年4月6日（日）	
新入生ガイダンス	2025年4月7日（月）	
新入生前期授業開始	2025年4月8日（火）	
新入生オリエンテーション	2025年4月22日（火）～4月23日（水）	
創設者総長藤田啓介先生顕彰の日	2025年6月11日（水）	
父母の会 役員会・定期総会・懇談会 （医療科学部）	2025年6月21日（土）	
就職ガイダンス	【医療検査学科】 2025年6月28日（土）、2026年3月9日（月） 【放射線学科】 2025年6月26日（木）、2026年2月27日（金）	全学科3年生対象
夏季休業	2025年8月上旬～9月中旬	
オープンキャンパス	2025年8月2日（土）～8月3日（日）	
後期授業開始	【医療検査学科】 〔1・2年〕2025年9月下旬 〔3年〕2025年9月上旬、〔4年〕2025年10月上旬 【放射線学科】 〔1年〕2025年9月下旬 〔2～4年〕2025年9月上旬	
開学記念日	2025年10月10日（金）	
藤田学園防災訓練	2025年10月11日（土）	
父母の会 役員会・懇談会 （医療科学部）	2025年10月4日（土）	
フジタEXPO 2025 ・ 藤田医科大学医学会及び研究推進本部 成果発表 ・ オープンキャンパス ・ 学園祭	2025年10月23日（木）～10月26日（日） 2025年10月23日（木）～10月26日（日） 2025年10月25日（土） 2025年10月25日（土）～10月26日（日）	
冬季休業	2025年12月下旬～2026年1月上旬	
授業開始	2026年1月上旬	
父母の会 役員会（医療科学部）	2026年2月28日（土）	
卒業式・謝恩会	2026年3月8日（日）	
春季休業	2026年2月下旬～3月下旬	

（注1） 授業開始日及び休業日（夏季・冬季・春季）については、学科・学年によって異なります。

（注2） 事情により変更することがありますので、掲示通知を必ず確認してください。

医療科学部 2 学科の行事予定

医療検査学科 (1 年生)		
行 事	日 程	備 考
前期試験	2025年 7 月23日 (水) ～ 8 月 5 日 (火)	1 年生
夏季休業	2025年 8 月 6 日 (水) ～ 9 月26日 (金)	1 年生
前期再試験	2025年 8 月28日 (木) ～ 9 月10日 (水)	1 年生
冬季休業	2025年12月22日 (月) ～ 1 月 6 日 (火)	1 年生
後期試験	2026年 1 月29日 (木) ～ 2 月16日 (月)	1 年生
後期再試験	2026年 2 月17日 (火) ～ 3 月 2 日 (月)	1 年生

医療検査学科 臨床検査学プログラム (2 年生～ 4 年生)		
行 事	日 程	備 考
前期試験	2025年 7 月22日 (火) ～ 8 月 1 日 (金)	2 年生
	2025年 7 月22日 (火) ～ 8 月 1 日 (金)	3 年生
	2025年 6 月18日 (水) ～ 6 月27日 (金)	4 年生
夏季休業	2025年 8 月 4 日 (月) ～ 9 月10日 (水)	2 年生
	2025年 8 月 4 日 (月) ～ 8 月22日 (金)	3 年生
	随時指定	4 年生
前期再試験	2025年 8 月27日 (水) ～ 9 月 9 日 (火)	2 年生
	2025年 8 月25日 (月) ～ 9 月 5 日 (金)	3 年生
	2025年 7 月 7 日 (月) ～ 7 月11日 (金)	4 年生
ホスピタルトレーニング宣誓式	2025年11月11日 (火)	3 年生
冬季休業	2025年12月23日 (火) ～ 1 月 6 日 (火)	2 年生
	2025年12月27日 (土) ～ 1 月10日 (土)	3 年生
	2025年12月22日 (月) ～ 1 月 7 日 (水)	4 年生
後期試験	2026年 1 月27日 (火) ～ 2 月12日 (木)	2 年生
	2025年11月12日 (水) ～11月17日 (月)	3 年生
	決定次第通知	4 年生
後期再試験	2026年 2 月16日 (月) ～ 2 月27日 (金)	2 年生
	2025年11月29日 (土) ～12月13日 (土)	3 年生
	決定次第通知	4 年生

医療検査学科 臨床工学プログラム (2 年生～ 4 年生)		
行 事	日 程	備 考
前期試験	2025年 7 月22日 (火) ～ 8 月 1 日 (金)	2 年生
	2025年 7 月22日 (火) ～ 8 月 4 日 (月)	3 年生
	2025年 6 月18日 (水) ～ 6 月27日 (金)	4 年生
夏季休業	2025年 8 月 4 日 (月) ～ 9 月10日 (水)	2 年生
	2025年 8 月 5 日 (火) ～ 8 月22日 (金)	3 年生
	随時指定	4 年生
前期再試験	2025年 8 月27日 (水) ～ 9 月 9 日 (火)	2 年生
	2025年 8 月25日 (月) ～ 9 月 5 日 (金)	3 年生
	2025年 7 月 7 日 (月) ～ 7 月11日 (金)	4 年生
ホスピタルトレーニング宣誓式	2025年11月11日 (火)	3 年生
冬季休業	2025年12月23日 (火) ～ 1 月 6 日 (火)	2 年生
	2025年12月23日 (火) ～ 1 月 6 日 (火)	3 年生
	2025年12月22日 (月) ～ 1 月 7 日 (水)	4 年生
後期試験	2026年 1 月27日 (火) ～ 2 月12日 (木)	2 年生
	2025年11月12日 (水) ～11月17日 (月)	3 年生
	決定次第通知	4 年生
後期再試験	2026年 2 月16日 (月) ～ 2 月27日 (金)	2 年生
	2025年11月29日 (土) ～12月13日 (土)	3 年生
	決定次第通知	4 年生

放射線学科		
行 事	日 程	備 考
前期試験	2025年 7 月23日 (水) ～ 8 月 5 日 (火)	1 年生
	2025年 7 月22日 (火) ～ 8 月 1 日 (金)	2 年生
	2025年 7 月22日 (火) ～ 8 月 1 日 (金)	3 年生
	2025年 6 月18日 (水) ～ 6 月27日 (金)	4 年生
夏季休業	2025年 8 月 6 日 (水) ～ 9 月16日 (火)	1 年生
	2025年 8 月 4 日 (月) ～ 9 月10日 (水)	2 年生
	2025年 8 月 4 日 (月) ～ 9 月13日 (土)	3 年生
	2025年 8 月 4 日 (月) ～ 9 月 9 日 (火)	4 年生
前期再試験	2025年 8 月28日 (木) ～ 9 月10日 (水)	1 年生
	2025年 8 月27日 (水) ～ 9 月 8 日 (月)	2 年生
	2025年 8 月25日 (月) ～ 9 月 5 日 (金)	3 年生
	2025年 7 月 7 日 (月) ～ 7 月11日 (金)	4 年生
ホスピタルトレーニング宣誓式	2025年11月25日 (火)	3 年生
冬季休業	2025年12月20日 (土) ～ 1 月 6 日 (火)	1 年生
	2025年12月20日 (土) ～ 1 月 6 日 (火)	2 年生
	2025年12月24日 (水) ～ 1 月 6 日 (火)	3 年生
	2025年12月22日 (月) ～ 1 月 7 日 (水)	4 年生
後期試験	2026年 1 月29日 (木) ～ 2 月13日 (金)	1 年生
	2026年 1 月27日 (火) ～ 2 月 5 日 (木)	2 年生
	2025年11月11日 (火) ～11月19日 (水)	3 年生
	決定次第通知	4 年生
後期再試験	2026年 2 月16日 (月) ～ 2 月27日 (金)	1 年生
	2026年 2 月10日 (火) ～ 2 月20日 (金)	2 年生
	2026年 1 月 7 日 (水) ～ 1 月14日 (水)	3 年生
	決定次第通知	4 年生

『選ばれ続ける藤田であること』

学部長

教授 小林 茂樹



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
在学生の皆さん、進級おめでとうございます。

2030年における藤田学園のあるべき姿として「FUJITA VISION 2030」を提唱しています。新入生の皆さんが医療科学部を卒業され、医療人として様々な医療現場でご活躍、大学院進学を目指した方は修士課程2年で修士論文を執筆されておられる年代に相当します。教育における大きな柱として「グローバルな新医療人創出拠点へ」をあげ、ひとをリスペクトできる医療人を育成、科学的思考をもった人材の育成、出生前から終末期までの社会課題に取り組める人材の育成を目標に、様々な教育プログラムの改変を行っています。

近未来は予測困難な時代と言われ、国内人口は減少の一途を辿ります。これからの高等教育はこの予測困難な時代に対応できる人材の育成が必要です。これからの医療の方向性を考えるに、厚生労働省は「保険医療2035」を提唱し、日本は健康先進国を目指して様々な暮らし方・働き方・生き方に対応できる20年先を見据えた保健医療システムをつくることを目標にあげています。医療業界においてDX化はまさに創世記に入り、簡単に言えば紙をなくして人材減少に対応するシステムをつくる、情報を集約化して国民の健康保持に繋げることです。日本の医療レベルは世界でも有数のトップレベルであると言われます。中国では患者本人の医療データは個人で管理保持しています。中国国内のどこの医療機関を受診しても患者本人が持つ情報を見ることが出来、診療に繋げることができます。日本では各医療機関が独自に患者情報を保管しており、病院間の情報共有はほとんどなされていません。いつも受診している医療機関であれば安心ですが、旅先で病気になった場合はどうでしょう？医療を提供する側も受診した患者の情報が本人の申告以外にはなにも情報が無い状況で診療しなければならないのが日本の現状です。

一方、文部科学省では日本における高等教育の将来構想について「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」が取りまとめられました。本答申では以下の三つの今後実現すべき方向性を提示しています。皆さん学修者が何を学び、身に付けることができるかを明確にし、実行できているか確認できる体制をつくる。18歳人口が現在の7割に減少するなかで、社会人や留学生の受け入れを拡大する。地域において本答申を議論する場を設け、各地域における高等教育の連携や統合を行う。高等教育が目指すべき姿として、「Sustainable Development Goals (SDGs)」、「Society5.0 第4次産業革命」、「人生100年時代」、「グローバル化」、「地方創成」をキーワードに、予測不可能な時代の到来を見据え、読解力や数学的思考力を含む基礎的で普遍的な知識・理解・技能を文理横断的に身に付けていくことが重要であり、さらに数理・データサイエンス等を基盤的なリテラシーと捉え、文理を超えて身に付けていくことが重要であると指摘しています。高等教育と社会との関係を強化し、継続的に発展させていくことが重要であり、研究力の強化、産業界との協力・連携、地域との連携がこれからの高等教育の使命です。

これらの指針を踏まえ、藤田学園では学部主導の運営から学園全体による運営へと組織を改変し、学園全体で皆さんの教育を支えるしくみを作っています。医療科学部においては医療検査学科、放射線学科の次世代を見据えた教育課程改革を行い、学部教育と大学院教育を一貫して行なえる、これからも選ばれ続ける藤田を目指して教育プログラムを検討しています。変化する時代のニーズに応えることが出来るグローバルな医療人を目指し、能動的なキャンパスライフを過ごしていただきたいと思います。学園全体で皆さんを支えていきます。

『将来の自分のために藤田での4年間を有意義なものに』

副学部長



教授 市野 直浩

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、在学生の皆さんにおかれましては、進級おめでとうございます。

大学生活の4年間は、将来の自分を高めるための重要な時間です。その4年間で「受け身の4年間にするか、それとも自ら働きかける4年間とするか」で、その先が大きく変わってきます。藤田はやりたいことができる大学、将来の夢に向かって進むことができる大学です。臨床に目を向ければ、最先端医療を提供する日本でトップクラスの大学病院を併設しています。また、研究の道を目指すのであれば、世界と競う研究室の扉を叩いて下さい。

学生の皆さんには、積極的な大学生活を過ごすことにより、次世代を担う医療人に成長して欲しいと願っています。

どうか、将来の自分のために藤田での4年間を有意義なものにして下さい。

『大学生活を通じて人間的な成長を』

副学部長



教授 成瀬 寛之

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心より歓迎申し上げます。大学生活の4年間は、様々な専門知識を得ることができますが、同時に人間的に成長することができる時期でもあります。皆さんが有意義な4年間を過ごすことにより、個人的に成長し、さらに社会全体に貢献できる人材となってくれることを期待しています。藤田医科大学の全教職員は、皆さんが成長できるよう全力でサポートしていきます。安心して学生生活を送ってください。

在学生のみなさん、進級おめでとうございます。講義や実習でたくさんの貴重な経験ができています。これらを糧にして、さらに人間的に成長してくれることを願っています。医療科学部には信頼できる先生、相談できる先輩がたくさんいます。いろいろな人を頼りながら充実した学生生活を送ってください。

新入生の皆さん、在学生のみなさん、一緒に楽しい学生生活を送りましょう。

『「学びのリセット・リスタート」のチャンス到来!!』

教務委員長



教授 戸塚 学

医療科学部の学生の皆さん、様々な思いで新年度を迎えていることでしょう。この時期だからこそ、私から提案したいことがあります。それは、入学・進級という環境の変化の力を借りながら、これまでとは少し違う学び方へのチャレンジ、「学びのリセット・リスタート」をしてはいかがでしょうか。

「学び」には、継続性が重要ですが、区切りも必要です。この4月に、「学びのリセット・リスタート」できれば、確実に次のステップへと加速できます。それは、効率的な自分自身の成長、アップデートにつながります。その一つの方向として、大学での学びを「自分で自分をデザインすること」と考えてみましょう。

大学の特徴は、「時間」を自分で作れること。「空間」を自分で広げられること。そして多様なバックグラウンドを持つ「仲間」と出会えること。この「3つの間」が揃っています。この「3つの間」を工夫することで「新しい自分のデザイン」の可能性が広がります。私たちもサポートさせていただきます。

『行動、Action』

学生指導委員長



教授 浅田 恭生

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、在学生の皆さん、進級おめでとうございます。大学生活の4年間は、将来の自分を高めるための重要な時間です。その4年間で「受け身の4年間にするか、それとも自ら積極的に行動する4年間にするか」で、その先が大きく変わります。学生の皆さんには「自ら積極的に行動する4年間」とし、次世代を担う医療人に成長して欲しいと願っています。学生指導委員会は、学生生活やクラブ活動などのサポートを行います。学生生活でも自ら積極的に行動する4年間とするために勉強以外のクラブ活動、イベント等に参加し、多くの仲間と共に充実した大学生活を過ごす、そして心豊かな幅広い人間性を培って欲しいと思います。どうか、大学生活を将来の自分のために有意義なものにして下さい。“行動、Action”

教員組織 医療科学部

学 長：岩田 仲生 学 部 長：小林 茂樹 副学部長：市野 直浩、成瀬 寛之
 教務委員長：戸塚 学 学生指導委員長：浅田 恭生

教育企画ユニット				
ユニット長 戸塚 学				
職 名	氏 名	主担当科目	電話	教員研究室
教育企画分野				
分野教授	南 一幸	(放) 基礎医学PBL	9419	大学6-501-3
教授 (教育担当)	杉本 恵子	(検) 循環整理機能解析学	9978	大学6-501-5
准教授	石川 浩章	(検) 臨床検査総合管理学Ⅰ	2955	大学6-501-2
准教授	梅沢 栄三	(放) 物理学	2955	大学6-501-1
教育情報学分野				
教授(部) 分野長代理	亀井 哲也	(放) 医療情報学	9812	大学6-506-4
准教授	武藤 晃一	(放) 医療情報システム工学	2628	大学6-506-2

研究推進ユニット				
ユニット長 毛利 彰宏				
職 名	氏 名	主担当科目	電話	教員研究室
医用情報工学分野				
准教授	松原 礼明	(放) 医用工学Ⅰ	9613	大学7-205-3
講 師	玉利 勇樹	(放) 放射線生物学	9582	大学7-209
レギュラトリサイエンス分野				
分野教授	毛利 彰宏	(検) 薬理学・生理学	9647	大学10-102
医療教授	大江 瑞恵	(検) 遺伝子検査学	9649	大学10-103
医療教授	水谷 謙明	(放) 人体構造機能学Ⅰ	2549	大学6-402
准教授	國澤 和生	(検) 薬理学・生理学	9648	大学10-102
医療 准教授	小林 達也	(検) 羽田 リプロダクションセンター 医師室		
助教(1号)	長谷川真也	(検) 薬理学・生理学	2532	大学3-209
			2953	大学10-102
			2627	大学3-212
医療助教	倉橋 仁美	(検) 薬理学・生理学	2953	大学10-102
免疫医科学分野				
分野教授	竹松 弘	(検) 免疫学・医化学	2595	大学3-325
講 師	内藤 裕子	(放) 免疫学	2518	大学3-324
知能情報工学分野				
分野教授	笠井 聡	(放) 知能情報工学	9872	大学7-208-1
助教(1号)	甲斐 千遥	(放) 知能情報工学	9582	大学7-209
研究補助 技術員	石塚 紗智	(放) 知能情報工学	—	大学7-208
予防医科学分野				
分野教授	鈴木 康司	(検) 公衆衛生学	2537	大学3-201
講 師	藤井 亮輔	(検) 公衆衛生学	2351	大学3-202
助 教	坪井 良樹	(検) 公衆衛生学	2546	大学3-204
先進診断システム開発分野				
分野教授	藤垣 英嗣	(検) 生化学・検査総合管理学	2520	大学3-328
教 授	齋藤 邦明	(検) 臨床化学	2611	大学11-302
准教授	山本 康子	(検) 分子遺伝学	2520	大学3-329
助教(3号)	生野 彰宏	(検) 細胞生物学	2532	大学3-209
医用マイクロマシン分野				
准教授	井上 佳則	(検)	9557	大学11-404
			9558	大学11-406

基 礎 教 育				
職 名	氏 名	主担当科目	電話	教員研究室
教 授	亀井 哲也	(放) 医療情報学	9812	大学6-506-4
教 授	戸塚 学	(放) 健康医科学	9580	大学6-504
准教授	堀内ちとせ	(放) 英語	2677	大学9-410
准教授	星野 弘喜	(放) 数学	9072	大学9-401
准教授	渡邊亜紀子	(検) キャリア教育	9620	大学9-417
講 師	堀場 文彰	(検) 情報処理学	9616	大学6-504
助 教	村田 幸則	(放) 経営学総論	9616	大学6-504

共同研究部門				
特命教授	岡 昌吾	生化学	9664	大学3-330

臨床教育連携ユニット				
ユニット長 高津 安男				
職 名	氏 名	主担当科目	電話	教員研究室
病態システム解析医学分野				
分野教授	伊藤 弘康	(検) 臨床生化学	9932	スタッフ館Ⅰ-416
教 授	大橋 勉二	(検) 臨床生化学	2627	大学3-213
医療 准教授	星 雅人	(検) 一般検査学	2532	大学3-210
医療 准教授	齊藤 成	(検) 臨床生化学	2528	大学3-211
助 教	安藤 嘉崇	(検) 臨床生化学	2546	大学3-204
助教(1号)	田辺 萌夏	(検) 臨床生化学	2627	大学3-212
病理組織細胞学分野				
分野教授	塩電 和也	(検) 病理学・病理検査学	2542	大学3-313
医療 准教授	服部 高幸	(検) 病理学・病理検査学	2532	大学3-312
医療講師	池田 美奈	(検) 病理学・病理検査学	2622	大学3-309
助 教	平山 将也	(検) 病理学・病理検査学	2545	大学3-311
細胞機能解析学分野				
分野教授	三浦 康生	(検) 輸血・血液学	9826	スタッフ館Ⅱ-605
准教授	松浦 秀哲	(検) 輸血・移植免疫学	2516	大学3-303
助 教	土井 洋輝	(検) 臨床血液学	2622	大学3-309
感染制御学分野				
分野教授	和知野純一	(検) 臨床微生物検査学	2558	大学3-301
医療 准教授	東本 祐紀	(検) 臨床微生物検査学	2617	大学3-304
講 師	今村 誠司	(検) 臨床微生物検査学	2617	大学3-305
講師(1号)	法月 千尋	(検) 臨床微生物検査学	2622	大学3-309
医療講師	仲本賢太郎	(検) 臨床検査学総論	2622	大学3-310
生体機能解析学分野				
分野教授	市野 直浩	(検) 臨床生理検査学	9050	大学3-320
准教授	刑部 恵介	(検) 臨床生理検査学	9430	大学3-321
講 師	前田 圭介	(検) 臨床生理検査学	9430	大学3-322
臨床病態解析学分野				
分野教授	成瀬 寛之	(検) 臨床病態学Ⅰ	2535	大学3-206
准教授	服部 秀計	(放) 臨床病態学Ⅲ	2546	大学3-205
准教授	坂口 英林	(検) 臨床病態学Ⅳ	2531	大学3-203
臨床工学分野				
医療教授 (労働法担当)	北本 憲永	(検) 安全管理学Ⅱ	9577	大学7-601
教 授	日比谷 信	(検) 医用機器安全管理学	2654	大学6-505B
医療 准教授	西垣 孝行	(検) 安全管理学Ⅰ	2619	大学7-601
講 師	川口 和紀	(検) 循環機能代行技術学	2619	大学7-601
助 教	塩谷 泰子	(検) 呼吸機能代行技術学	2619	大学7-601
診断支援機器科学分野				
分野教授	堀 秀生	(検) 医用治療機器学	9579	大学6-505A
			2614	大学7-603
教 授	井平 勝	(検) 生体計測装置学	2629	大学7-603
准教授	大橋 篤	(検) 代謝機能代行技術学	2614	大学7-603
診療画像技術学分野				
分野教授	小林 茂樹	(放) 診療画像学	9417	大学7-403-1
准教授	小林 正尚	(放) 画像診断機器工学Ⅰ	2596	大学7-403-3
講 師	羽場 友信	(放) 診療画像技術学Ⅰ	9408	大学7-410
医療講師	片岡 由美	(放) 実践臨床技術学	2762	医療機器診断・治療センター
医学物理学分野				
分野教授	林 直樹	(放) 放射線治療技術学	9424	大学7-301
医療 准教授	清水 秀年	(放) 医学物理学	2536	大学7-301
講 師	安井 啓祐	(放) 放射線計測学Ⅰ・Ⅱ	9630	大学7-310
分子イメージング学分野				
分野教授	高津 安男	(放) 磁気共鳴論	9615	大学7-401-1
准教授	白川 誠士	(放) 核医学機器工学	9422	大学7-401-2
准教授	椎葉 拓郎	(放) 核医学検査技術学	9020	大学7-405-3
医療講師	高野 一輝	(放) 磁気共鳴論	9408	大学7-410
診断機器工学分野				
分野教授	浅田 恭生	(放) 放射線保健管理学	2548	大学7-408-2
医療 准教授	國友 博史	(放) 画像診断機器工学Ⅱ	9613	大学7-408-3
講 師	平野 陽豊	(放) 医用工学Ⅱ	9614	大学7-409
講 師	辻本 正和	(放) 放射化学	9614	大学7-409

2025年度 医療科学部 クラス担任名簿

医療検査学科				
学年	クラス	担任名		メールアドレス
1年	主任	杉 本 恵 子	教授(教育担当)	skeiko@fujita-hu.ac.jp
	A	大 江 瑞 恵	医療教授	otamae@fujita-hu.ac.jp
		川 口 和 紀	講師	kkawagu@fujita-hu.ac.jp
	B	法 月 千 尋	講師	chihiro.norizuki@fujita-hu.ac.jp
		西 垣 孝 行	医療准教授	takayukinishigaki@fujita-hu.ac.jp
	C	安 藤 嘉 崇	助教	yando@fujita-hu.ac.jp
		塩 谷 泰 子	助教	yasuko.enya@fujita-hu.ac.jp
2年	主任	石 川 浩 章	准教授	hishikaw@fujita-hu.ac.jp
	副主任	堀 秀 生	分野教授	hori@fujita-hu.ac.jp
	A	服 部 高 幸	医療准教授	takayuki.hattori@fujita-hu.ac.jp
	B	前 田 圭 介	講師	maeda@fujita-hu.ac.jp
	C	坂 口 英 林	准教授	sakaguch@fujita-hu.ac.jp
3年	主任	松 浦 秀 哲	准教授	mhide@fujita-hu.ac.jp
	副主任	北 本 憲 永	医療教授	norihisa.kitamoto@fujita-hu.ac.jp
	A	星 雅 人	医療准教授	mhoshi@fujita-hu.ac.jp
	B	東 本 祐 紀	医療准教授	yhigashi@fujita-hu.ac.jp
	C	土 井 洋 輝	助教	hdoi@fujita-hu.ac.jp
4年	主任	鈴 木 康 司	分野教授	ksuzuki@fujita-hu.ac.jp
	副主任	大 橋 篤	准教授	aohashi@fujita-hu.ac.jp
	A	塩 竈 和 也	分野教授	kazshio@fujita-hu.ac.jp
	B	刑 部 恵 介	准教授	kosakabe@fujita-hu.ac.jp
	C	今 村 誠 司	講師	simamura@fujita-hu.ac.jp

放射線学科				
学年	クラス	担任名		メールアドレス
1年	主任	南 一 幸	分野教授	kminami@fujita-hu.ac.jp
	副主任	武 藤 晃 一	准教授	kmuto@fujita-hu.ac.jp
	A	椎 葉 拓 郎	准教授	takuro.shiiba@fujita-hu.ac.jp
		内 藤 裕 子	講師	yuko.naito@fujita-hu.ac.jp
	B	片 岡 由 美	医療講師	kataoka@fujita-hu.ac.jp
		堀 内 ちとせ	准教授	chitose@fujita-hu.ac.jp
2年	主任	亀 井 哲 也	教授	tkamei@fujita-hu.ac.jp
	副主任	梅 沢 栄 三	准教授	umezawa@fujita-hu.ac.jp
	A	玉 利 勇 樹	講師	yuki.tamari@fujita-hu.ac.jp
	B	林 直 樹	分野教授	hayashi@fujita-hu.ac.jp
3年	主任	小 林 正 尚	准教授	masa1121@fujita-hu.ac.jp
	副主任	國 友 博 史	医療准教授	hiroshi.kunitomo@fujita-hu.ac.jp
	A	白 川 誠 士	准教授	sshira@fujita-hu.ac.jp
	B	平 野 陽 豊	講師	harutoyo.hirano@fujita-hu.ac.jp
4年	主任	浅 田 恭 生	分野教授	asada@fujita-hu.ac.jp
	副主任	高 津 安 男	分野教授	yasuo.takatsu@fujita-hu.ac.jp
	A	高 野 一 輝	医療講師	ktakano@fujita-hu.ac.jp
	B	辻 本 正 和	講師	mckz-t@fujita-hu.ac.jp

事務局案内

事務局の業務

1 事務局窓口業務取扱時間

曜 日	窓口対応時間	証明書発行機稼働時間
月～金	8：45～17：00	8：00～20：00
土	—	8：00～20：00

※祝日、開学記念日（10／10）など学内休日、年末年始（12／29～1／3）は除きます

2 業務内容

●**教学課（教務）** 大学3号館 医療検査学科：2556、放射線学科：2503 いずれも市外・市内局番は（0562-93-）

- 学籍に関すること
- 授業、試験、その他教務に関すること
- 学生への学事、教務通知
- 国家試験出願および受験に関すること
- 学生の諸届け及び証明事務
- 学生の身分証明、学割、成績証明、ディプロマサプリメント等の交付
- 学生の学外病院等実習に関すること
- 試験料その他手数料の徴収
- 更衣ロッカーの管理（鍵の管理、補修等）
- 父母の会に関すること（運営）

教務に申し出て欲しいこと

- ・授業開始後15分たっても担当教員が来ないとき
- ・蛍光灯が切れたとき、施設が破損したとき
- ・チョーク、ホワイトボードマーカー、マイク、乾電池（マイク、時計用）が必要なとき
- ・教室の一時貸与に関すること（時間外の使用を含む）
- ・体調が悪くなったとき

○**教学課（庶務）** 大学3号館：0562-93-2504、9080

- 学部内施設の一時貸与に関すること
- 学部建築物および施設の修理
- 学部内施設の維持及び清掃に関すること
- 備品の貸与および管理
- 学園内の事務連絡
- 入試事務に関すること（募集要項など）
- 郵便物の配布に関すること
- 授業料等学納金の請求事務に関すること
- 父母の会に関すること（会計）

○**学生支援課** 大学5号館：0562-93-2636、9442

- 各種奨学金の事務手続き
- 学生の課外活動に関すること
- 学生の集会、掲示、印刷物等に関すること
- 学生の保健衛生、健康管理に関すること
- その他、学生生活に関すること

学生支援課に申し出て欲しいこと

- ・掲示許可印が必要なとき
- ・体調が悪くなったとき

提出書類一覧表(1)

注意：押印不要でも、自著の必要な書類があります。

提出書類名	提出に必要な押印	書類提出先	備 考
欠席届	クラス担任	教学課	各授業科目を欠席したとき、出校後 5 日以内に提出すること。
長期欠席届	クラス担任	教学課	病気、災害その他の事由により欠席が 5 日以上になるときは、診断書または事由書を添えて、欠席が始まった日から 10 日以内に提出すること。
特別欠席届	クラス担任	教学課	忌引、就職試験、出席停止が定められている学校伝染病、異常気象等の特別な理由のため欠席するときは、欠席の理由を証明する書類を添え、欠席が始まった日から 10 日以内に提出する。
休学願	本人、保証人 クラス担任	教学課	保証人連署の上、休学の理由を証明する書類（診断書など）を添えて願い出ること。
退学願	本人、保証人 クラス担任	教学課	病気その他のやむを得ない事情のため退学しようとするときは、保証人連署の上、学生証を添えて願い出ること。
復学願	本人、保証人 クラス担任	教学課	休学者が復学しようとするときは保証人連署の上、復学できることを証明する書類を添えて願い出ること。
試験欠席届	クラス担任	教学課	病気またはやむを得ない事由で受験が不可能な場合には、診断書または事由書を添えて、出校後 2 日以内に提出すること。
再試験受験票	なし	教学課	再試験前日までに手続きすること（1 教科 1 枚）。手続きを済ませていない者は、受験できない。※試験会場へ提出
追試許可願	クラス担任	教学課	追試験前日までに手続きすること（1 教科 1 枚）。手続きを済ませていない者は、受験できない。※試験会場へ提出
学生証 再交付願	本人、保証人 クラス担任	教学課	証明書交付願に添えて提出すること。
改姓（名）届	クラス担任	教学課	戸籍抄本 1 通を添えて提出すること。
本籍地変更届	クラス担任	教学課	戸籍抄本 1 通を添えて提出すること。（都道府県名の変更時のみ提出）
保証人住所 変更届	本人、保証人 クラス担任	教学課	保証人連署の上、提出すること。
保証人変更届	本人、保証人（新旧） クラス担任	教学課	保証人、新保証人連署の上、提出すること。
証明書交付願	なし	教学課	各証明書類の交付は、申し込みから 2 日程度を要する（土・日・祝日は含まない）。英文証明書、推薦書、その他の証明書（特殊な証明）の交付は、申し込みから 14 日程度を要する。

* 教学課に関係するその他の提出書類（用紙は教学課にあります）

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1) 病院実習遅刻・早退・欠席届 | 2) 病院実習欠席による補習願 |
| 3) 実験・実習（学部内）補習願 | 4) 延着届 5) 診療費等減免申請書 |

提出書類一覧表(2)

注意：押印不要でも、自著の必要な書類があります。

提出書類名	提出に必要な押印	書類提出先	備 考
集会願 (参加名簿)	なし	学生支援課	部長またはクラス担任の承認を得て、集会の30日前までに願 い出ること。
団体の結成 (学外団体加入) 許可願	なし	学生支援課	専任教員を部長に定め、学生3名が連署の上、必要書類を添 えて願い出ること。
(注) 学外試合・ 行事参加願(参加 名簿)(配車表)	なし	学生支援課	学生責任者が所要事項を記載して、試合・行事の30日前まで に必要書類を添えて願い出ること。(注) 自動車を使用の場合 は配車表を添付すること。
合宿願 (配車表)	なし	学生支援課	学生責任者が所要事項を記載して、合宿の30日前までに必要 書類を添えて願い出ること。自動車を使用の場合は配車表を 添付すること。
印刷物などの 発行、配布並び に掲示承認願	なし	学生支援課	印刷物等を発行または配布しようとするときは、事前に原稿 (印刷物) を添えて願い出ること。
事故報告書	なし	学生支援課	講義中や部活動中、通学途中に負傷した時は、速やかに提出 すること。
交通事故報告書	なし	学生支援課	交通事故にあった場合は、速やかに提出すること。
遺失・紛失届	なし	学生支援課	ロッカーの鍵、学生証等を紛失した場合に提出すること。
盗難等被害届	なし	学生支援課	学内で盗難等被害があった場合に提出すること。
二輪車駐輪・ 駐車場利用願	なし	学生支援課	駐輪場の利用を希望する場合、提出すること。
二輪車駐輪・ 駐車場利用 停止届	なし	学生支援課	駐輪場の利用停止を希望する場合、提出すること。
団体結成 昇格許可願	なし	学生支援課	愛好会から同好会、もしくは同好会から部に昇格する場合、ク ラブの代表者が提出すること。
団体の休部届	なし	学生支援課	部活動を一定期間休止する場合、クラブの代表者が提出する こと。
団体の再開届	なし	学生支援課	部活動を再開する場合、クラブの代表者が提出すること。
部長変更願	なし	学生支援課	団体の部長(教員)が交代する場合、提出すること。
クラブ活動 学生代表者等 変更届	なし	学生支援課	部活動の代表者、会計を変更した場合、提出すること。
渡航届	なし	学生支援課	学校行事・課外活動・私用問わず国外に出る場合、安全衛生 管理の目的により、あらかじめ提出すること。
教室使用 許可願	本人、クラス担任 または部長	教学課	授業終了後に教室を使用しようとするとき、事前に提出する こと。
物品借用願	本人	教学課	物品を使用しようとするとき、事前に提出すること。

注：学外試合・行事のレベル・内容によっては、学生指導委員長の承認を得て、特別欠席が認められる場合があ
ります。

履修案内

1 授業科目

授業科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別などについては、「学則」の教育課程を参照してください。

2 単位の計算方法

1単位は45時間の学修を必要とする内容です。授業科目の単位数の計算方法は、原則として次の基準によります（学則第26条）。

- 講義及び演習：15時間、22.5時間又は30時間で1単位
- 実験・実習・実技：30時間又は45時間で1単位

3 授業時間

時 限	授 業 時 間	休 憩 時 間
1	9：00～10：30	10：30～10：40
2	10：40～12：10	12：10～13：00
3	13：00～14：30	14：30～14：40
4	14：40～16：10	16：10～16：20
5	16：20～17：50	

* 病院実習などでは授業時間が異なる場合があります。

4 卒業の要件

卒業に必要な単位数および卒業の要件については、「医療科学部規程」を参照してください。

5 学業の評価

評 価	評 点	合 否
S	100～90点	合 格
A	89～80点	合 格
B	79～70点	合 格
C	69～60点	合 格
D	60点未満	不 合 格

6 欠席について

- 欠 席

授業を欠席した場合は、「欠席届」に理由を記して、クラス担任の捺印を得て、出校後5日以内に教学課に提出してください。

- 特別欠席（公欠として欠席日数に数えない）

忌引、就職試験、出席停止が定められている学校伝染病、異常気象等の特別な理由により欠席する場合は、「特別欠席届」に欠席の理由を証明する書類を添え、欠席がはじまった日から10日以内にクラス担任の捺印を得て教学課へ提出してください。また、対外試合等に参加するため欠席する者は、部長名連署の上「学外試合参加願」「学外試合参加名簿」を学生支援課に提出し、教務委員長及び学生指導委員長が承認した場合には特別欠席となります。

- 欠席回数の確認

学生ナビにより欠席回数を確認します。（詳細については、「出欠確認の運用方法（毎月）」をご確認ください。）その際、疑問のある者は申し出期間中に確認してください。

ただし、申し出期間を過ぎた者については、受け付けいたしませんので、気をつけてください。

取得資格

1 本学卒業により取得できる資格

授与される学位

【医療科学部】	
医療検査学科	学士（医療検査科学）
放射線学科	学士（診療放射線技術学）

取得できる資格

学 科	取得できる資格	備 考
【医療科学部】		
医療検査学科	臨床検査技師国家試験受験資格 臨床工学技士国家試験受験資格	臨床検査学プログラム 臨床工学プログラム
放射線学科	診療放射線技師国家試験受験資格	

2 本学履修に関係する資格

学 科	関係する資格	本学における履修との関係
【医療科学部】		
医療検査学科	第1種衛生管理者 食品衛生管理者 食品衛生監視員 食品衛生責任者 環境衛生監視員	所定の選択科目を履修した者 所定の選択科目を履修した者 (臨床検査学プログラムの者のみ) 所定の選択科目を履修した者
放射線学科	作業環境測定士 エックス線作業主任者 ガンマ線透過写真撮影作業主任者	診療放射線技師免許を有する者は、 一部の試験が免除される 診療放射線技師免許を有する者は無試験 診療放射線技師免許を有する者は無試験

(1) 資格一覧表

学 科	資 格	本学履修との関係	職 務 内 容
医療検査学科 ※臨床検査学プログラム	臨床検査技師	保健衛生学の課程を修めて卒業し、かつ所定の科目を修めた者で、臨床検査技師国家試験に合格した者。	厚生労働大臣の免許を受けて臨床検査技師の名称を用いて、医師又は歯科医師の指導の下に微生物学的検査、血清学的検査、血液学的検査、病理学的検査、寄生虫学的検査、生化学的検査及び厚生労働省令で定める生理学的検査を行う。生理学的検査には、心電図、心音図、脳波、筋電図、基礎代謝、呼吸機能、超音波、磁気共鳴画像検査などがある。
医療検査学科 ※臨床工学プログラム	臨床工学技士	厚生労働大臣が指定する科目を修めて卒業したもので、臨床工学技士国家試験に合格し、厚生労働大臣により臨床工学技士免許を与えられたもの。	厚生労働大臣の免許を受けて、臨床工学技士の名称を用いて、医師の指示の下に、人工呼吸器、人工透析装置、人工心肺装置、体外式ペースメーカー等の生命維持装置の操作及び保守点検を行う。
医療検査学科	第1種衛生管理者	労働衛生に関する科目を修め、本学科を卒業した者。(自己申請)	事業所における衛生に関する事項を管理し、健康に異常のあるものの発見及び処理、労働環境衛生に関する調査、企業条件、施設等の衛生上の改善、衛生用具・救命用具の点検整備、衛生教育・健康相談その他労働者の健康維持に必要な事項、労働者の負傷、疾病による死亡、欠勤及び移動に関する統計の作成、衛生日誌等に関する事項を行う。(常時50人以上の労働者を使用する事業所には、衛生管理者を置かなければならない。)
医療検査学科 ※臨床検査学プログラム	食品衛生管理者	所定の科目を修め、本学科を卒業した者。(任用資格)	乳製品や化学的合成品たる添加物の製造または加工の課程で特に衛生上の配慮を必要とする食品や添加物の製造、加工を行う施設において、関係する法令に違反しないよう従事者を監視する。
医療検査学科 ※臨床検査学プログラム	食品衛生監視員	所定の科目を修め、本学科を卒業した者。(任用資格)	食品営業施設の臨検、食品、添加物、帳簿書類等の検査及び食品添加物等の収去試験、ならびに食品衛生に関する指導を主な職務とする公務員である。
医療検査学科 ※臨床検査学プログラム	食品衛生責任者	食品衛生管理者の資格を有する者。	食品関係の営業を営む場合は、所轄の保健所へ設置届を提出すれば、営業許可証が発行される。
医療検査学科	環境衛生監視員	保健衛生学の課程を修めて卒業した者。(任用資格)	興業場法、旅館業法、公衆浴場法、理容師法、美容師法、クリーニング法による営業法による営業上必要な衛生指導がなされているかどうか監視及び指導を行う公務員である。

*任用資格：官公庁や事業所で勤務する場合、特定の業務につくために必要な資格であり、無試験で得られる資格をいう。

学 科	資 格	本学履修との関係	職 務 内 容
放射線学科	診療放射線技師	文部科学大臣の指定した学校において３年以上診療放射線技師として必要な知識及び技能の修習を終え、診療放射線技師の国家試験に合格した者。	厚生労働大臣の免許を受けて、診療放射線技師の名称を用いて、医師又は歯科医師の指示の下に、放射線を人体に対して照射すること、及び磁気共鳴画像診断装置、超音波画像診断装置、無散瞳眼底カメラを用いた検査を行う。
放射線学科	第一種作業環境測定士 (放射性物質に係るもの)	診療放射線技師免許を有する者は、一部の試験科目が免除される。	指定作業場（放射線物質に係る場所）において、作業環境測定の業務を行う。
放射線学科	エックス線作業主任者	診療放射線技師免許を有する者は、試験科目が免除される。	エックス線装置の使用やエックス線の発生を伴う検査の業務を行う。
放射線学科	ガンマ線透過写真撮影作業主任者	診療放射線技師免許を有する者は、試験科目が免除される。	ガンマ線照射装置を用いて行う透過写真の撮影の業務を行う。
放射線学科	放射線取扱主任者	放射線取扱主任者試験（在学中の受験可）に合格し、講習を終了した者。	放射性同位元素及び放射線発生装置を使用する施設等における放射線障害の防止についての監督。第１種（制限なし）、第２種（制限あり）、第３種（制限あり、講習の受講・修了のみで取得可）の３種類の資格がある。

* 任用資格：官公庁や事業所で勤務する場合、特定の業務につくために必要な資格であり、無試験で得られる資格をいう。

(2)各学科における取得目標資格一覧表

学科名	所得目標資格	職 務 内 容
医療検査学科 ※臨床工学プログラム	第２種ME技術者	第２種ME技術実力検定試験の合格者に与えられる呼称。ME機器・システムの安全管理を中心とした医用生体工学に関する知識をもち、適切な指導のもとで、それを実際に医療に応用しうる資質を持つ。また、第１種ME技術実力検定試験の受験資格が得られる。
医療検査学科 ※臨床工学プログラム	第１種ME技術者	第１種ME技術実力検定試験の合格者かつ２年以上の実務経験者に与えられる呼称。ME機器・システムおよび関連設備の保守・安全管理を中心に、総合的に管理する専門的知識・技術を有し、かつ他の医療従事者技術に対し、ME機器および関連設備に関する教育・指導ができる資質をもつ。

掲示

本学では、学生への通達、通知、連絡、呼び出しなどは、緊急の場合を除いてすべて学生ナビへの掲示により行います。朝・夕必ず見る習慣をつけてください。掲示は7日間を過ぎれば全学生に周知したものととして、取り除くことがあります。

また、その他の掲示物は以下**1**の掲示板に掲示することがあります。

1 掲示場所

各学年および学科全体に対する掲示は各学科の建物にあります。全学年共通の掲示板と学年の掲示板の両方を必ず登校時・下校時に確認してください。

学年掲示板

- 医療科学部 医療検査学科 1・2年生：大学3号館1階
- 医療検査学科 3年生臨床検査学プログラム：大学3号館B1階
- 医療検査学科 3年生臨床工学プログラム：大学7号館1階
- 医療検査学科 4年生臨床検査学プログラム：大学3号館B1階
- 医療検査学科 4年生臨床工学プログラム：大学7号館1階
- 放射線学科 1・2年生：大学3号館2階
- 放射線学科 3・4年生：大学7号館2階

防災

(学生便覧の全学共通編「防災について」も併せて参照してください。)

防災については、別途配布した「防災・減災ハンドブック」に詳細な情報と行動マニュアルが示されていますので、普段からたびたび目を通して、いざというときに落ち着いて行動できるようにしてください。また、初動の注意事項と緊急連絡先が書かれた「緊急対応カード」を名札ケースに入れて必ず携帯してください。

まずやるべきことは次の3つです。

- ・災害時の初動マニュアルを熟知しておくこと
- ・避難場所を確認しておくこと(学科もしくは建物ごとに決められています)
- ・家族・友人との連絡方法を確認しておくこと(三角通信網、伝言ダイヤルなど)

学費の納入

学費に関しては、「学則」および「学生心得規程」に定められています。

1 学費の納入

① 納入期日(新入学生)

学費(入学金、授業料、実験実習教材費、教育充実費)は、学生募集要項による方法にて、期日までに納入してください。

② 納入期日(在学学生)

学費(授業料、実験実習教材費、教育充実費)は、指定の金融口座からの引落としの方法により、前期分を4月末日、後期分を10月末日までに納入してください。

③ 督促

学費を指定期日までに納入しない者に対しては督促しますが、それでも納入しない場合には、各種の証明書を発行しません。更に受講・受験の停止又は除籍をすることがあります。

2 医療科学部提携教育ローン・保健衛生学部提携教育ローン

- ① オリコ学費サポートプラン（㈱オリエントコーポレーション）
- ② SMBCグループ セディナ学費ローン（SMBCファイナンスサービス㈱）
- ③ ジャックス 教育ローン（㈱ジャックス）

学業奨励奨学金給付金制度

選考基準：奨学金を給付する年度の前年度となる第1学年から第3学年までのそれぞれの1ヵ年において、学業成績が優れ学生生活において他の模範と認められる学生のうち、医療科学部教授会で選考し、医療科学部長の推薦に基づき学長が決定する。

各学科における各学年の在籍学生の中で成績が上位5％に相当する順位（小数点以下は四捨五入）以内の者とする。

選考者数：選考基準を満たす者のうち各学科における各学年の在籍学生3％に相当する人数以内とする。

給付額：奨学金給付対象学生1名につき300,000円

給付方法：学生本人の預金口座に送金

その他：詳細については、「藤田医科大学学業奨励奨学金給付規程」参照

藤田医科大学医療科学部における個人情報の保護について

藤田医科大学医療科学部（以下、学部とする）では、学生の個人情報だけでなく、保証人や卒業生、教職員、患者等の個人情報も多く取り扱っています。このため、個人情報保護の重要性を十分認識し、個人情報の不正使用や漏えいを防ぎ、それらを適切に取り扱うため、「藤田学園における個人情報保護に関する規程」に基づき、「藤田医科大学医療科学部個人情報管理に関する規程」を定めています。個人情報保護を推進するための体制として、規程により個人情報管理責任者を学部長とし、学部における個人情報管理の取り組みに対する意思決定機関として「医療科学部学生指導委員会個人情報管理小委員会」（以下、個人情報管理小委員会とする）を設置しています。

学部では、以下のことを守るとともに、今後も教職員の個人情報保護へのさらなる意識向上を図り、取り組みを継続してまいります。

個人情報の取り扱いについて

学部における個人情報の取り扱いの原則及び現状の要約と、個人情報管理小委員会による個人情報保護への取り組みの基本について以下に記します。

①目的

本文書は学部が保有する個人情報の取り扱いに関する体制・基本ルールを明示することを目的とします。

②個人情報・個人データ・保有個人データの定義

個人情報とは、受験生とその保証人、在学生とその保証人、卒業生、教職員、患者等に関する情報であって、学部の業務に関して取得した情報のうち、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により、特定の個人を識別することができるもののことです。

個人データとは、個人情報を容易に検索可能なように体系的に整理したり、電子データとしてデータベースに格納したりした、個人情報データベース等（例：Excelで作成した学生名簿などコンピュータで検索できるようになっているものを含む）を構成するデータのことです。

保有個人データとは、学部および教職員がその業務の目的のために利用する権限を持つ個人データのことです。

「保有個人データ」は「個人データ」および「個人情報」にも該当し、「個人データ」は「個人情報」にも該当します。下記において、「個人情報」について述べたことは「個人データ」「保有個人データ」においても同様とします。「個人データ」について述べたことは「保有個人データ」においても同様とします。

③教職員の責務

学部の教職員は、個人情報保護の重要性を十分に認識し、個人情報の取り扱いに伴う本人の権利や利益の侵害を防止するために必要な措置を講じる責務を負っています。また、退職後についても同様です。

④個人情報管理体制（責任者、委員会、教育）

学部における個人情報保護活動の実施及び運用に関して責任を負う、個人情報管理責任者をおきます。個人情報管理責任者は学部長とします。同責任者は、個人情報を取り扱う教職員に対し、個人情報の保護措置を習熟させるために必要な教育・研修を行います。また、学部における個人情報管理に関する意思決定機関として個人情報管理小委員会を設置し、個人情報管理に関する計画立案、指示、監査を行います。さらに、個人情報管理小委員会の定めた方針に従って、個人情報管理に関する取り組みを推進します。

⑤個人情報の取得

学部は、法令による例外に該当しない限り、業務の目的を達成するために必要な範囲内でその利用目的を特定し、それを周知したうえで（オプトアウト）、または本人より直接同意を得たうえで（オプトイン）、適法かつ公正な手段によって個人情報の取得を行います。

学部における業務のために個人情報を取得する情報主体（個人情報を提供する本人）の種別として、学生（単位互換学生、科目等履修生、高大連携における高校生等を含む）、学生の保証人、学生の保護者・家族、卒業生・同窓生、資料請求者、入学志願者、患者、献体及び遺族、地域包括ケア利用者、教職員（非常勤を含む）、就職関連対応者、広報関連対応者、教育連携対応者、研究対象者等があります。

学部が学生より取得する個人情報は、本人の氏名、性別、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス、SNSアカウント、肖像及び業務の遂行に必要な個人に関する情報を含みます。個人情報に基づき学籍を登録し、学籍番号を付与して識別します。学籍番号が付随する情報は全て個人情報として取り扱います。

なお、学部が要配慮個人情報を取得する場合は、必ず本人より直接同意を得たうえで取得（オプトイン）します。ただし、本人を研究対象者として要配慮個人情報を取得する場合、本人の権利利益を不当に侵害することが無い場合は、本人からの直接の同意なく要配慮個人情報を取得（オプトアウト）することがあります。

⑥個人情報の利用目的

学部が取得した個人情報は、あらかじめ周知または本人の同意を得た利用目的にのみ利用します。取得済みの個人情報の利用目的を変更する場合は、本人に同意を得て行います。また、違法・不当な行為を助長・誘発するおそれがある不適正な方法による個人情報の利用は一切行いません。ただし、学術研究目的で個人情報を取り扱う場合には、本人の権利利益を不当に侵害することが無い限り、同意を得た利用目的以外に利用することがあります。

個人情報を利用する目的について、情報主体ごとに示します。

〈学生〉

学生の個人情報は、高等教育機関として教育・研究・FD活動のために利用します。また、学校法人運営に関する全ての業務に利用します。

具体的な利用目的を以下に示します。

- 教務に関する業務
(学生名簿、出欠管理、成績・取得単位管理、到達度自己評価管理、実習管理、卒業研究管理、Learning Management System運用管理、資格取得管理等)
- 学務に関する業務 (学生証作成、宿所届管理、緊急連絡、学納金管理、各種証明書発行等)
- 学生生活に関する業務 (健康診断、学生相談、奨学金情報、学校保険、クラブ・同好会等)
- 就職及び進路指導に関する業務 (進路希望調査、希望就職先情報、内定情報等)
- 卒業生に関する業務 (卒業アルバム作成、同窓会名簿等)
- 防災対策に関する業務 (緊急連絡先、避難時点呼用名簿等)
- 防犯に関する業務 (防犯カメラ等)
- 学内向け広報に関する業務 (学内誌発行、同窓会誌発行、学内行事の掲示等)
- 放射線ばく管理に関する業務
- IR (Institutional Research) に関する業務
- 学術研究 (教育研究等)
- SRP (Student Researcher Program) に関する業務

〈保証人〉

- 学業成績等通知、学費納入通知、懇談会運営及び関連通知に関する業務

〈保護者・家族〉

- 学生指導上の連絡、防災上の安否確認・緊急連絡に関する業務

〈卒業生・同窓生〉

- 卒業・成績・在籍等の証明に関する業務
- 大学行事の案内に関する業務
- 求職対応に関する業務 (学生支援課と連携した業務を含む)
- IRに関する業務

〈資料請求者〉

- 資料等発送、諸行事案内等に関する業務
- 大学説明会、オープンキャンパス等の参加者の管理に関する業務
- IRに関する業務

〈入学志願者〉

- 入学案内等資料送付、入学試験に関する業務
- IRに関する業務

〈患者〉

- 臨地実習・臨床実習に関する業務
- 臨床教員による医療提供に関する業務
- 学術研究（医学研究等）

〈献体及び遺族〉

- 解剖体慰霊祭の運営に関する業務

〈地域包括ケア利用者〉

- 臨床教員による居宅介護支援、訪問看護に関する業務
- 学生及び教職員によるふじたまちかど保健室における地域住民への健康支援に関する業務

〈教職員（非常勤を含む）〉

- 人事、給与、労務、厚生、採用、保険、保健、財務及び学校法人組織運営に関する業務
- 放射線被ばく管理に関する業務

〈就職関連対応者〉

- 病院企業訪問に関する業務
- IRに関する業務

〈広報関連対応者〉

- 高校訪問、母校訪問に関する業務

〈教育連携対応者〉

- 臨地実習・臨床実習先施設との連携に関する業務
- インターンシップ受入先企業との連携に関する業務
- 高大連携に関する業務

〈研究対象者〉

- 学術研究

⑦個人情報の安全管理

学部が業務上取り扱う個人情報について、漏洩・紛失・破損・改ざん・消失などが起きないように、安全管理に努めます。また、個人情報を取り扱う業務を委託した場合、委託先において適切に安全管理が行われるように監督します。

業務遂行のため、学生の個人情報について以下に示すように取り扱うことがあります。

- 各授業科目の合否判定の学内掲示
- 卒業及び進級判定結果の学内掲示
- 学生本人への連絡のための学内掲示
- 成績情報の保護者への通知
- 学生本人並びに保護者への電話またはメールによる連絡

もし、個人情報の漏洩・紛失等が発生してしまい、本人の権利利益を害するおそれがある場合には、直ちに本人へ通知するとともに、個人情報保護委員会（<https://www.ppc.go.jp/>）に報告します。

⑧個人情報の第三者提供

学部は、原則として、オプトアウト方式による学校法人藤田学園以外の第三者への個人情報の提供は行いません。ただし、法令の定めに基づく場合など本人より同意を得ず第三者提供できる場合（学術研究目的を含む）や、本人に直接同意を得たオプトイン方式の場合では、この限りではありません。

利用目的内で、学部が学生本人に代わって個人データを第三者へ提供する場合として、以下があります。

- 本学同窓会
- 奨学事業を行う団体
- 臨地実習・臨床実習およびインターンシップ等の受入先施設
- 資格試験関連の認定機関
- 資格取得に関する研修を担当する職能団体
- 学校保険会社など
- 学術交流協定などによる協定大学への情報提供
- 国際交流推進センター、留学先機関への留学者等の情報提供
- 学外活動における受け入れ先組織への情報提供

学部においてオプトイン方式による個人データの第三者提供を実施した場合には、提供年月日・提供先の特定情報・提供情報の本人特定情報・情報項目・本人同意を得ている旨を記録します。

⑨匿名加工情報、仮名加工情報、個人関連情報の取り扱い

学部が取得した個人情報から「匿名加工情報」を作成し取り扱うときは、法令・ガイドラインに則り加工し、加工方法等情報および匿名加工情報の安全管理に努めます。また、作成した匿名加工情報の情報項目を公表します。第三者提供するときには匿名加工情報の情報項目と提供方法を公表します。作成した匿名加工情報を利用するときは、本人を識別しようとする行為を禁止します。

学部が取得した個人情報から「仮名加工情報」を作成し取り扱うときは、法令・ガイドラインに則り加工し、対照表等および仮名加工情報の安全管理に努めます。個人情報の取得時と異なる目的で利用する場合は、利用目的を公表します。第三者提供は行いません。作成した仮名加工情報を利用するときは、本人を識別する行為、本人への到達行為、目的外利用を禁止します。利用目的を変更した場合は、変更した利用目的を公表します。

学部が保有している生存する個人に関する情報であって、個人情報、仮名加工情報、匿名加工情報のいずれにも該当しない「個人関連情報」を第三者提供するとき、提供先において個人関連情報が個人データになり得ると想定される場合は、提供先が当該個人関連情報の第三者提供について本人から同意を得ていることを、あらかじめ提供先事業者から確認します。確認できない場合は第三者提供しません。

⑩外部照会（開示・訂正・利用停止請求、窓口）

学部における個人情報の取得・利用についての問い合わせ窓口は大学事務局医療科学教学課です。学部が管理する保有個人データの開示・訂正・利用停止・消去・第三者への提供禁止の請求、第三者提供記録の開示請求については書面にて受付けますので、問い合わせ窓口までご連絡ください。保有個人データの開示は、書面または電子データにて対応します。なお、問い合わせや請求は、原則として、本人または法定代理人からのみ対応いたします。

（平成20年9月改正）

（平成29年4月改正）

（平成30年4月改正）

（令和3年4月改正）

（令和4年4月改正）

（令和5年4月改正）

（令和6年4月改正）

（令和7年4月改正）



藤田医科大学 医療科学部
FUJITA HEALTH UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICAL SCIENCES